

1. 業務の概要

佐賀県全域を対象として、下記①～⑥に示す、各種予測・想定に必要な基礎データの収集から地震動・被害量の計算、図面報告書の作成等の業務を行う。平成25年度は、①、②、③の一部（強震動の予測）を実施した。業務の流れを図1-1に示す。

- ① 地震動予測、被害想定の実施に必要な資料の収集・整理
- ② 想定地震の震源モデルや深部・浅部地下データの収集と震源・地盤モデル等の作成
- ③ 強震動、震度階、液状化、斜面崩壊危険個所等の予測
- ④ 建物・火災・人的被害、上下水道、電気・電話等のライフライン施設被害、社会資本施設被害、生活支障・社会支障等の予測等
- ⑤ 調査報告書の作成
- ⑥ 佐賀県地震被害等調査検討委員会（以下「検討委員会」という）の実施に係る補助業務

業務期間は、平成25年8月1日～平成27年1月21日（平成25～26年度）である。

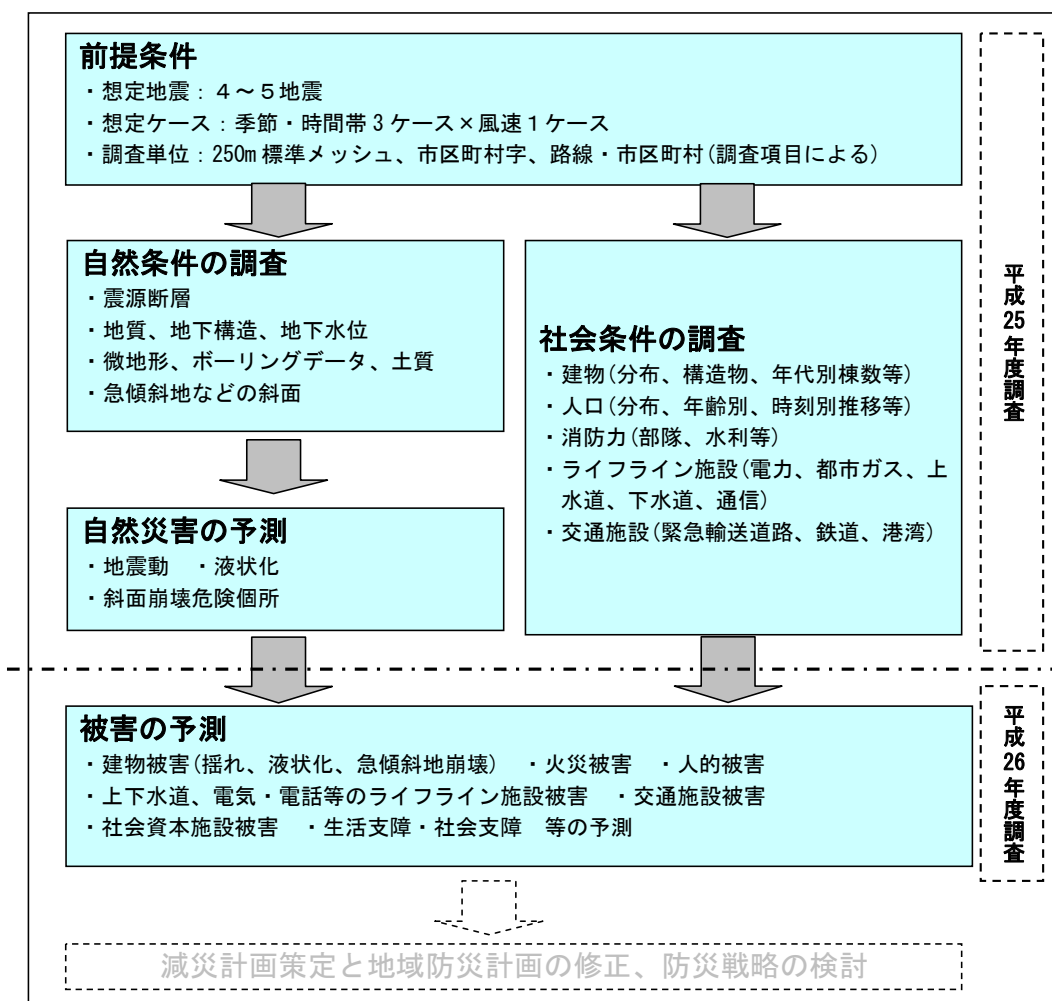


図1-1 佐賀県地震被害等予測調査における作業の流れ

2. データの収集整理

「佐賀県地震被害等予測調査業務」に必要なデータとして表 2-1 に示すデータを収集した。収集対象は、国・県やその関連機関、市町である。

表 2-1 本業務で収集対象としたデータ

項目	提供を依頼する データの内容	用途	担当部署
地盤 データ	ボーリング調査データ、関連する報告書等	工学的基盤以浅の浅い地盤モデルの作成に使用。これをもとに、浅い地盤の地震波の増幅度を評価し、地震動の予測を行う。また、地震の際の斜面崩壊危険度の予測に使用。	土木関係（国及び県及び各市町）
建物 データ	固定資産課税台帳データ	地震の際の建物被害予測に使用。 （建物被害予測が、火災被害予測や人的被害予測の基礎となる）	税務関係（県及び各市町）
	町丁目・字境界図		
	非課税建物データ		
上水道 データ	①給水区域図 ②管路図（管路網図） ③上水道管路データ ④配水世帯数データ ⑤復旧関係データ	地震の際のライフラインの被害予測や避難者数の予測に使用。	水道局（課）関係 （水道局及び県及び各市町）
下水道 データ	①流域下水道処理区図 ②下水道管きょ図 ③下水道管きょデータ ④下水道処理区域人口データ ⑤復旧関係データ		
消防力 データ	①消防署データ ②防火水槽データ ③消防団データ	地震の際の火災の延焼予測（消防活動による延焼防止・鎮火の効果も含む）に使用。	消防関係（課）（消防本部及び県及び各市町）
危険物 データ	○危険物施設データ	施設ごとの震度別出火率から、出火件数を求める際に使用。	消防関係（課）（消防本部及び県及び各市町）
交通 施設 データ	①緊急輸送道路網データ ②橋梁データ ③漁港施設データ ④堤防データ	地震の際の交通施設被害予測に使用。	土木関係（国及び県及び各市町）